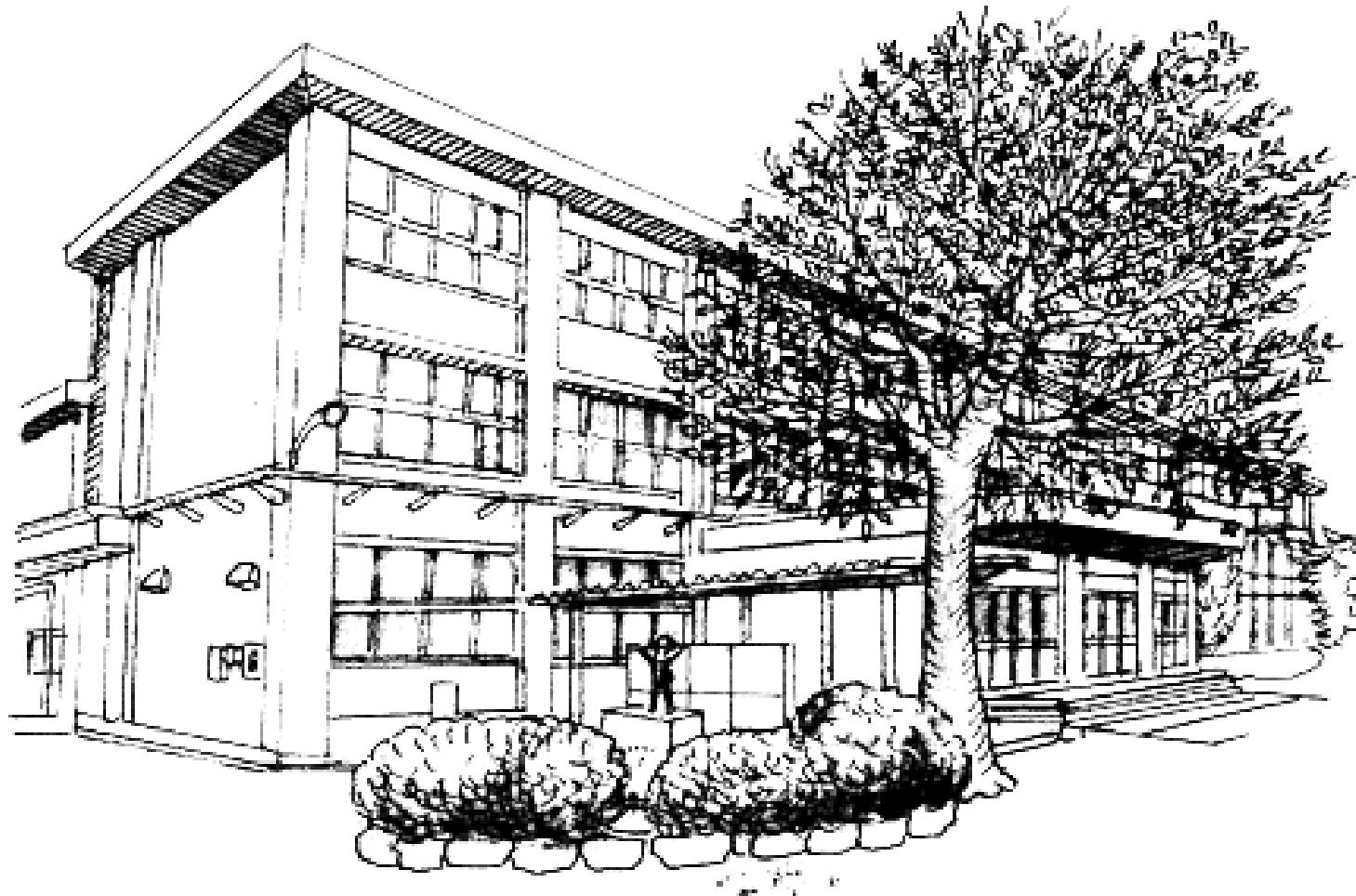


# 自己を見つめ、よりよい生き方について考える 道徳教育の在り方

---



岐阜市立白山小学校

# 概要

- ・願う子どもの姿について
- ・研究仮説について
- ・研究内容について

願う子どもの姿

よりよい生き方について  
考え続ける子

# 研究仮説

自己を見つめ、よりよい生き方について  
考える特別の教科道徳の授業を計画的に  
行いながら、家庭・地域と連携した教育活動  
を計画的・連続的に位置付けていけば、  
よりよい生き方について考え続ける子が  
育つだろう。

# 研究内容 1

## 道徳科の授業の単位時間の在り方

<研究内容 1-(1)>

各指導過程におけるねらいの明確化

<研究内容 1-(2)>

過程のねらいに至るための手立ての工夫

# 研究内容 1

## 道徳科の授業の単位時間の在り方

<研究内容1-(1)>

各指導過程におけるねらいの明確化

<研究内容1-(2)>

過程のねらいに至るための手立ての工夫

# 研究内容Ⅰ-(Ⅰ) 各指導過程におけるねらいの明確化

過程	ねらい
気付く	教材の登場人物に対する自己の感じ方や考え方 <small>に</small> 気付く。
深める	自己の感じ方や考え方 <small>(=感想)</small> をもとにして、登場人物の言動の中にある道徳的価値について仲間と話し合う中で、道徳的諸価値についての理解を深める。
見つめる・つなぐ	今までよりも深められた価値観と照らし合わせて自己を見つめ、自分の生活につなぐ。

# 研究内容 1

## 道徳科の授業の単位時間の在り方

<研究内容1-(1)>

各指導過程におけるねらいの明確化

<研究内容1-(2)>

過程のねらいに至るための手立ての工夫

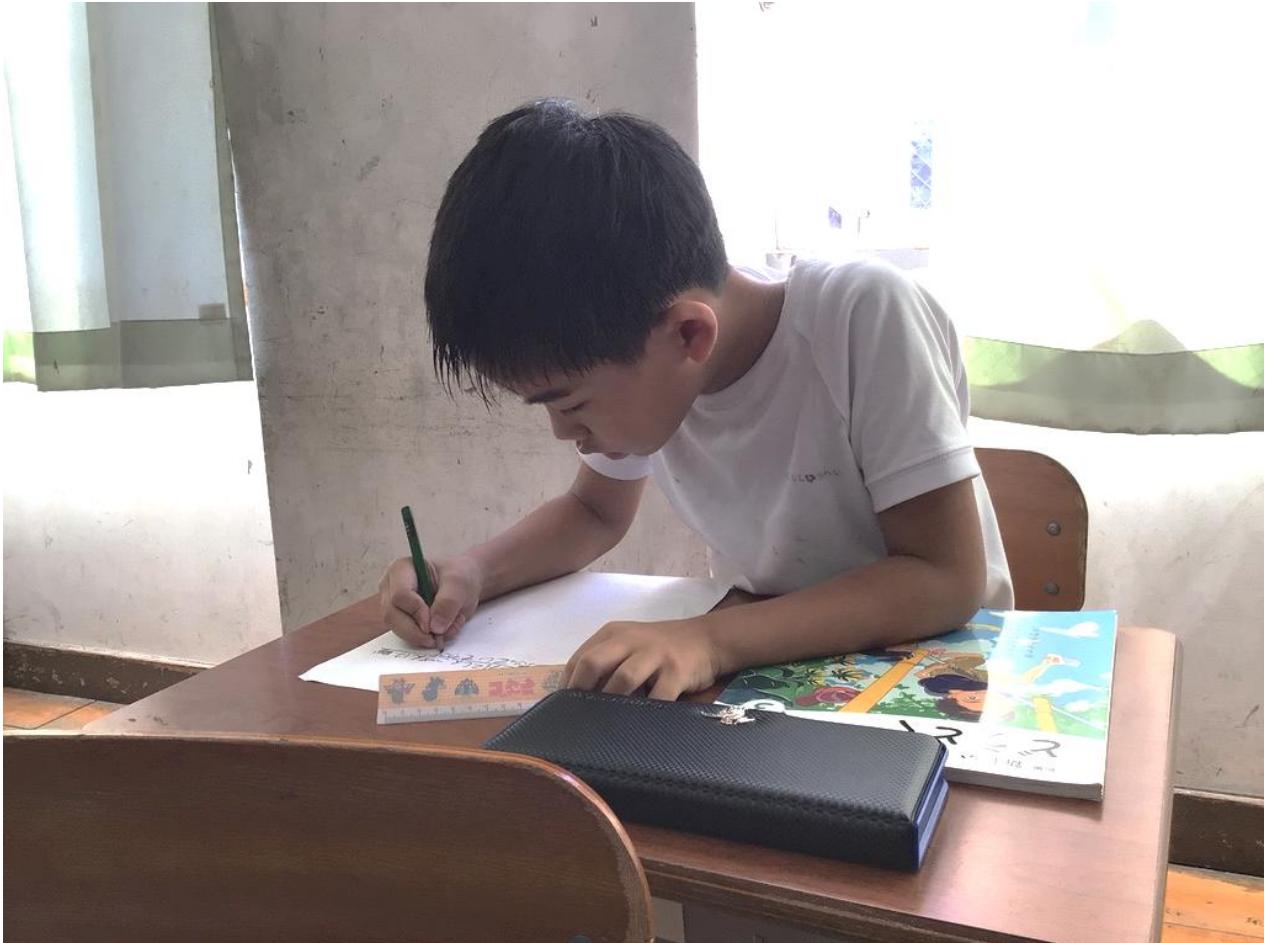
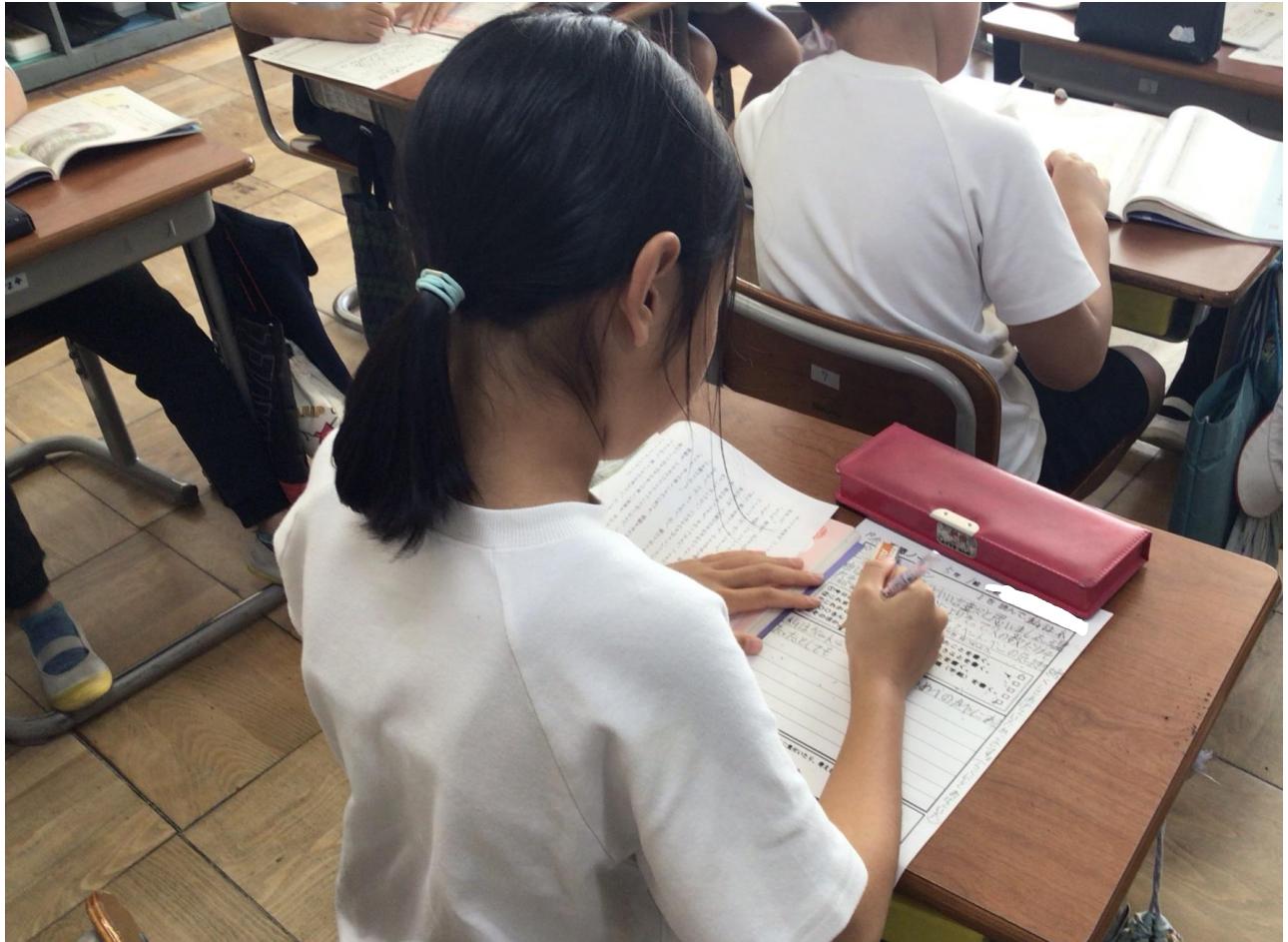
## 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」

- ・感想交流を位置付ける
- ・書く活動を位置付ける（文章／線）
- ・教材文の内容に惹きつける導入をする

# 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

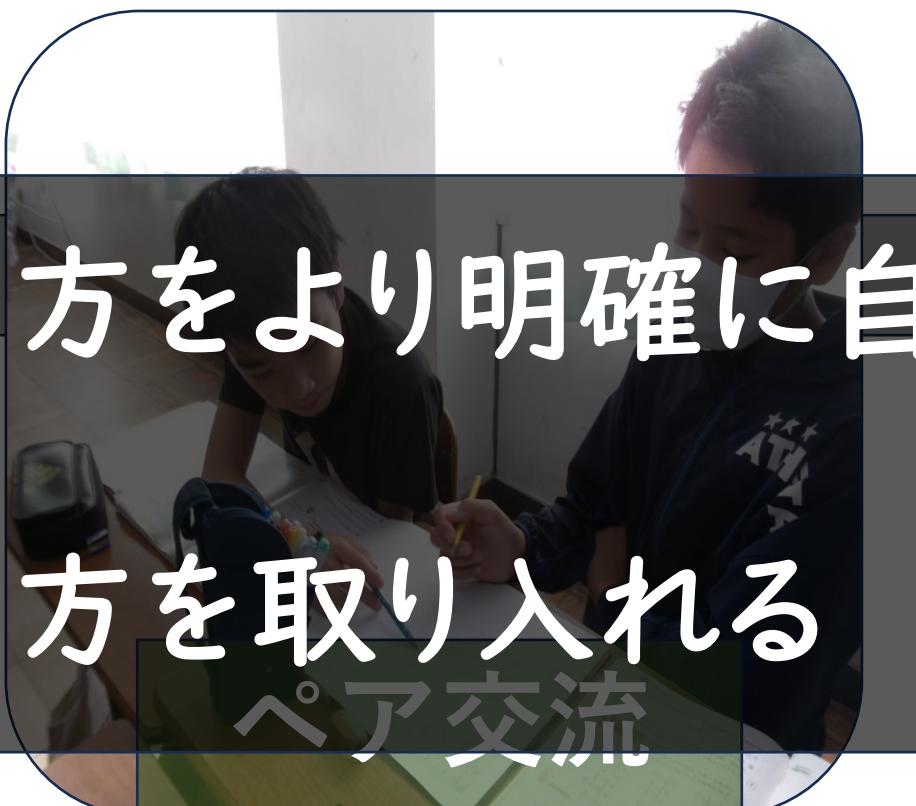
「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」



# 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

## 「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」

【A児の発言】 ~6年生全研「手品師」より~



最初の感想

・自己の感じ方をより明確に自覚する

「手品師は素晴らしい。真似できな

・他者の感じ方を取り入れる  
「手品師は素晴らしい。真似できな  
ぎる。」

ペア交流

全体交流

「せっかくの夢を叶える  
やうなのに大劇場  
を断った。

一人の男の子をそん  
なに尊重することが  
できることが素敵だと  
思った。」

研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

# 「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」



わたのみ授業  
「折り紙大使」-加瀬三郎-より



1年生全研  
「二わのことり」より

研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」

- ・発問のもつ効果と扱う場面の検討  
(ねらいに向かう発問の精選)
- ・役割演技の位置付け

## 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」

### 人物に自我関与する発問 (心情を問う発問)

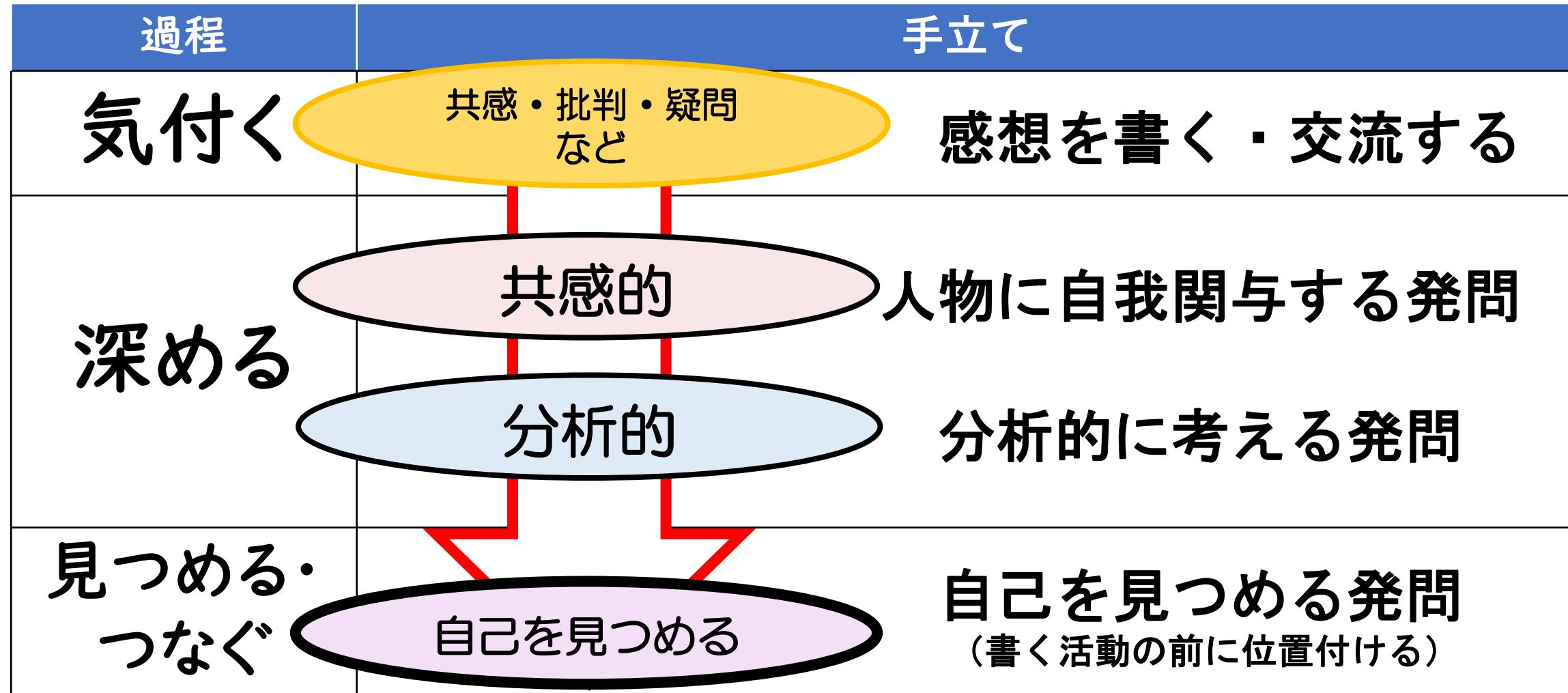
- ・～はどんな思いだったのだろう。
- ・～はどんなことを考えていたのだろう。
- ・このときの心の中の様子はどのようだろう。

### 分析的に考える発問 (判断の理由を問う発問)

- ・なぜ～したのだろう(することにしたのだろう。)
- ・どんな思いから～だったのだろう。

## 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

### 「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」



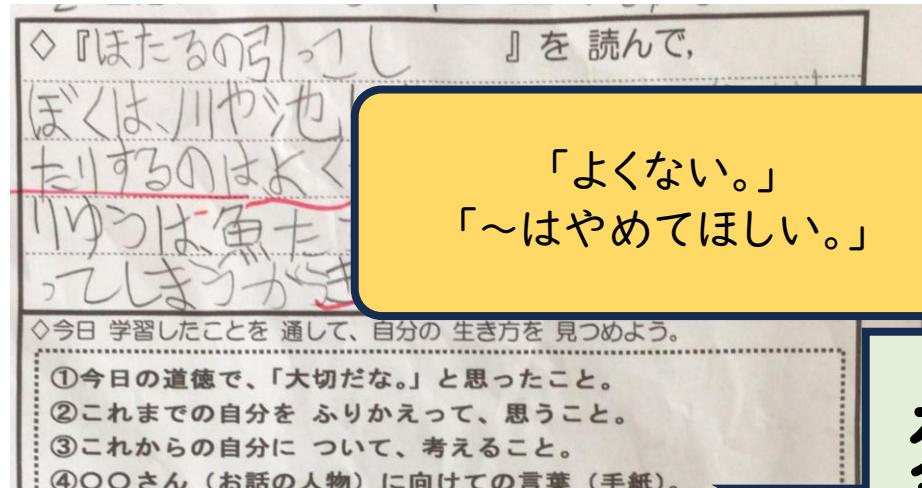
## 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」

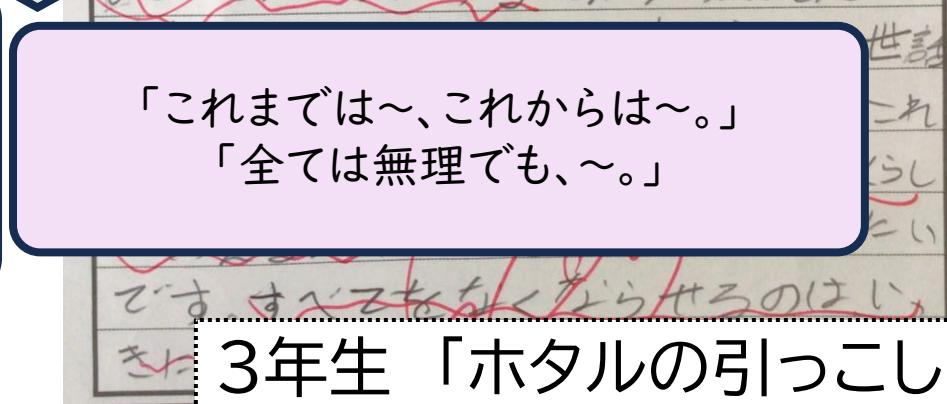
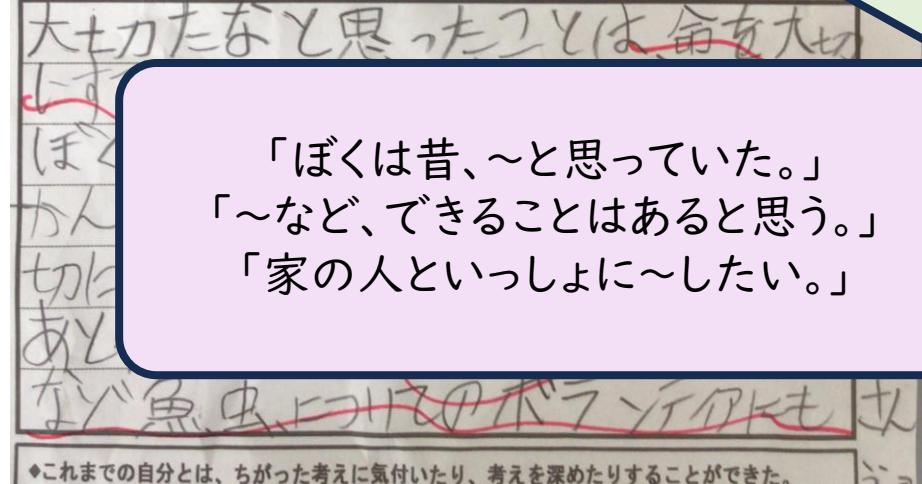
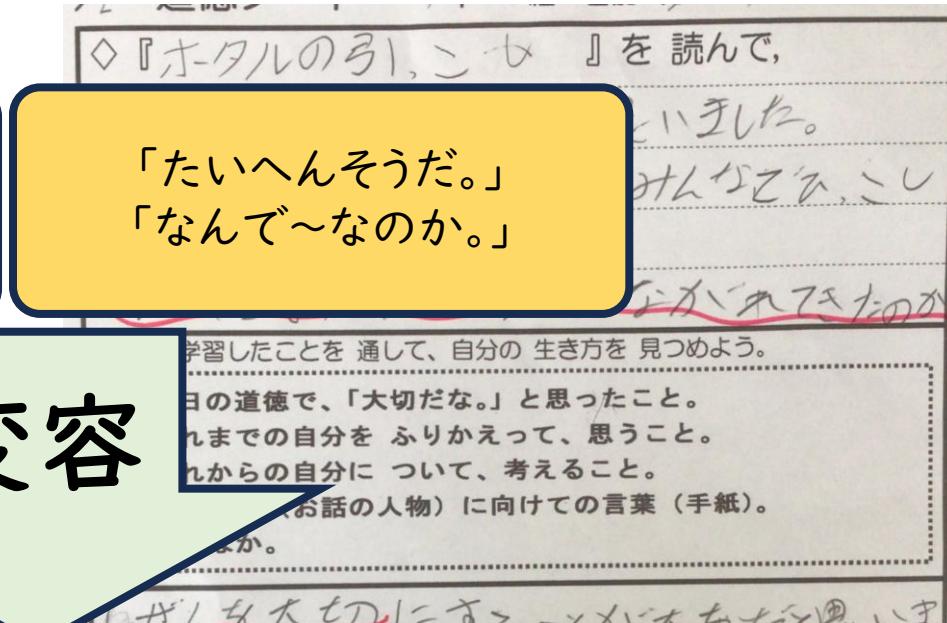
- ・自己を見つめるための発問と書く活動の組み合わせ
- ・道徳ノートの工夫

# 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫

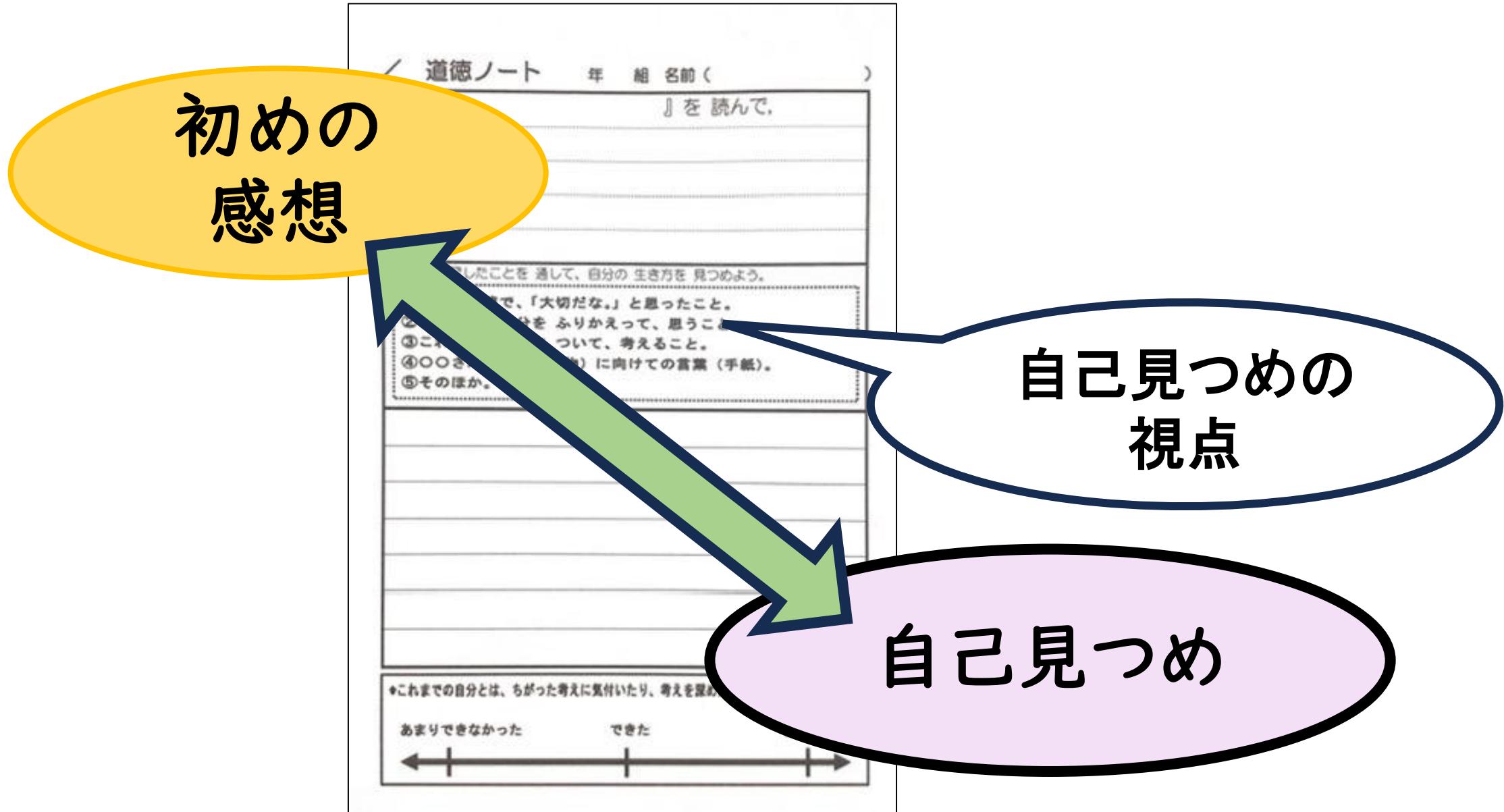
## 「気付く」-「深める」-「見つめる・つなぐ」



変容



# 研究内容I-(2) 過程のねらいに至るための手立ての工夫



# 研究内容2

## 全教育活動で行う道徳教育の在り方

<研究内容2-(1)>

年間指導計画・別葉の見直しと改善

<研究内容2-(2)>

家庭や地域との連携の在り方

# 研究内容2

## 全教育活動で行う道徳教育の在り方

<研究内容2-(1)>

年間指導計画・別葉の見直しと改善

<研究内容2-(2)>

家庭や地域との連携の在り方

# 研究内容2-(I) 年間指導計画・別葉の見直しと改善



# 研究内容2

## 全教育活動で行う道徳教育の在り方

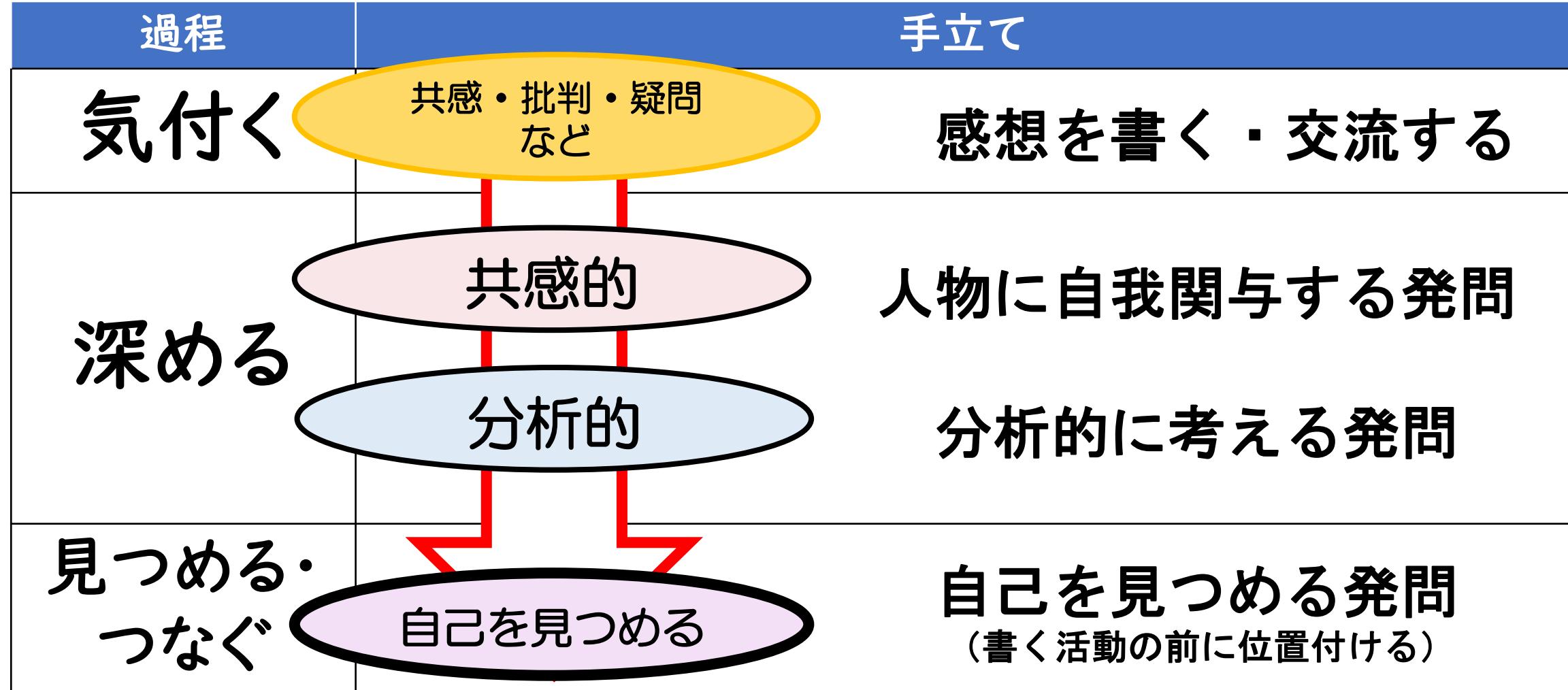
<研究内容2-(1)>

年間指導計画・別葉の見直しと改善

<研究内容2-(2)>

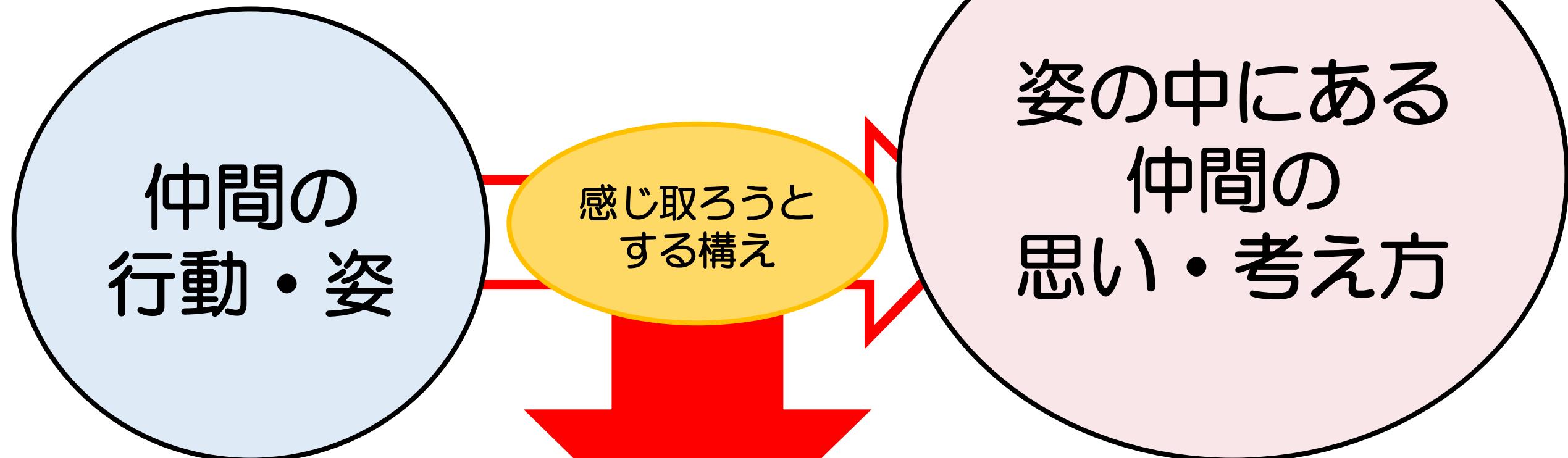
家庭や地域との連携の在り方

# 研究内容2-(2) 家庭や地域との連携の在り方



## 研究内容2-(2) 家庭や地域との連携の在り方

「すてき見つけ」



よりよい生き方を考え続ける 姿勢

# 研究内容2-(2) 家庭や地域との連携の在り方

○お家の方から

人の心  
思ひま  
で相手  
こない  
どんなお

学習をふりかえろう

年組 夕前( )

○お家の方から

悪いことをしてしまったとき、素直にあやまることは  
自分も相手もすきりするよね。きちんとあやまることは  
大切だと鬼ります。そう考えることが“できたことが”  
いいと思ひました。

# 研究内容2- (2)

## 授業公開

授業を参観した保護者さんからのコメントより

立場をはっきり  
述べて発表できる

人のお話を聞く姿勢や自分  
のお話を聞いて  
もらおうとする姿

他の人の意見も  
吸収し合い

「自分とここは一緒だな、こ  
こは違うな」と  
考えながら

# 研究内容2-(2) 家庭や地域との連携の在り方

B 礼儀

C 勤労, 公共の精神

C 家族愛, 家庭生活の充実

D 自然愛護

自己を見つめ、  
よりよい生き方に  
ついて考える  
道徳教育の在り方



## <研究内容1>

道徳科の授業の単位時間の在り方

- (1)各指導過程におけるねらいの明確化
- (2)過程のねらいに至るための手立ての工夫

## <研究内容2>

全教育活動で行う道徳教育の在り方

- (1)年間指導計画・別葉の見直しと改善
- (2)家庭や地域との連携の在り方